



桜だより



2022年10月25日発行



リオデジャネイロ日本人学校 体験型文化祭を開催!

3年ぶりの開催となったリオ日学の文化祭は、みんなで参加する体験型文化祭となりました。橋場総領事様をはじめ、ご来賓の皆様にもご参加いただいたの開催となりましたこと、感謝申し上げます。



ブラジル文化を体感しよう!

～親子でサンバ体験教室～

今回の講師として、“サウゲイロ”の楽器隊のリーダーの Guilherme Oliveira さん、2022年カーニバルの女王の Thai Rodrigues さん、そして、元“サウゲイロ”のダンサーリーダーで、現在“インペラトリス”の振付士師である Márcio Dellawegah さんの3名をお迎えし、体験サンバ教室を行いました。



作品展示 ～学習で取り組んだ中から～



日頃の学習の中で制作した作品や学習成果をまとめたものを展示しました。



ブラジル建国200周年記念制作

～未来のブラジル～

「こうなってほしい、未来のブラジル」をテーマに、ブラジルの素晴らしい部分を絵で表しました。

これまで日学では、SDGsについて学んできましたが、SDGsが目指すのは、「持続可能な未来」です。その未来に、ブラジルの、どんなものを残したいのか、みんなで描き一枚のパネルにしました。



合唱・全員合唱

～みんなの歌声をひとつに～



「CIDADE MARAVILHOSA」「さんぽ」の2曲を、小1から中2までの子どもたちが、心を一つに歌いました。また、1970年代に活躍したフォークグループ「赤い鳥」のヒット曲を、会場の皆様と一緒に歌いました。この曲は小学6年生の音楽の教科書にも掲載され、長く歌い続けられている曲です。



サンバのリズムに合わせて踊り、未来のブラジルを思い浮かべながら絵を描き、おやつを食べながら作品を鑑賞する。そんな初めての試みでしたが、楽しい文化祭になりました。

